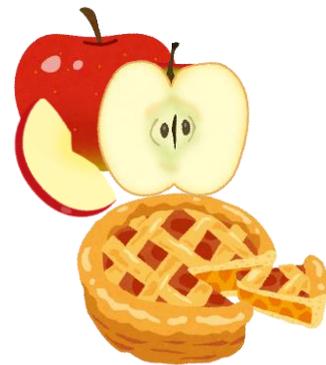


S/F REAL4

Q&A



 あいホールディングスグループ **DBM**

株式会社 **ドッドウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC

🔑? 勾配の複写方法について知りたい！

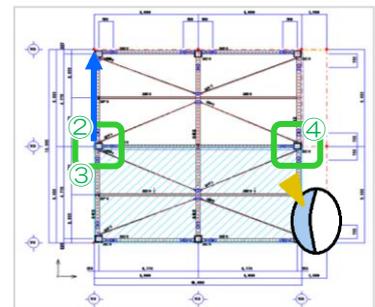
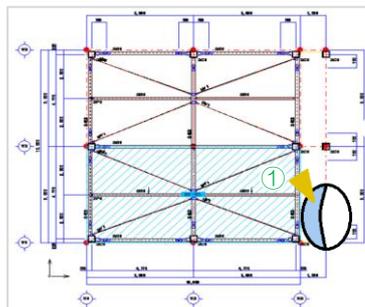
【勾配】 - 【複写】でコピーが可能です。

配置した勾配を複写したい場合は【勾配】 - 【複写】をクリックします。



例) Y1-Y2 通り間に入力されている勾配を向かいの Y2-Y3 通り間に複写
複写先の勾配の流れが反対の為【反転】を「する」を選択します。

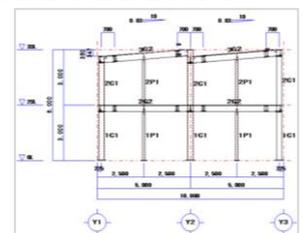
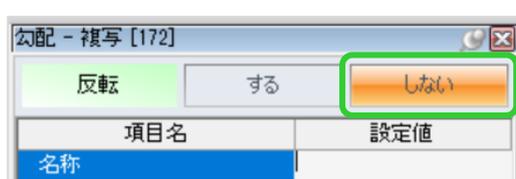
- ① 元となる入力済み Y1-Y2 通り間の勾配面を選択します。
- ② 続いて基準位置として X1-Y2 の交点をクリックします。
- ③ 複写先の基準位置として同様に X1-Y2 の交点をクリックします。
- ④ 最後に勾配面の複写角度の指定として X3-Y2 の交点をクリックし、勾配面を複写します。



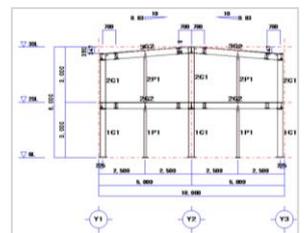
勾配の複写では必要に応じて入力シートで複写データの【反転】や、【勾配面名】の設定を行います。

複写データの【反転】を設定することで、反転した状態の勾配を複写することが可能です。勾配の流れは矢印で表現されます。

 複写データの【反転】を「しない」にした場合、勾配面は反転せずそのままの勾配方向で複写されます。



複写データの【反転】を「する」にした場合、勾配面を反転して複写ができます。

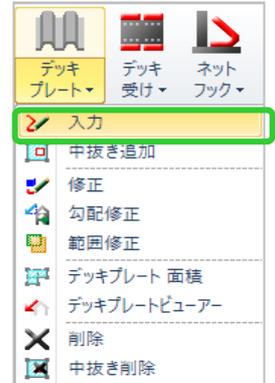
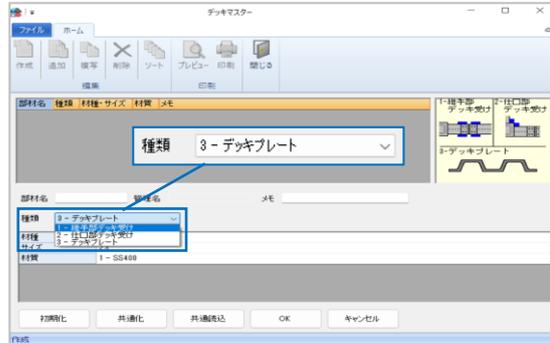


🔑? デッキプレートを入力したい!

二次部材のデッキで入力ができます。

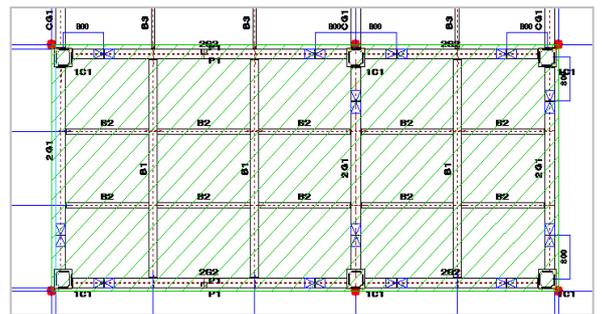
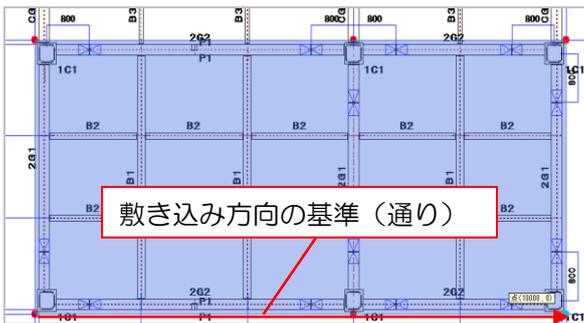
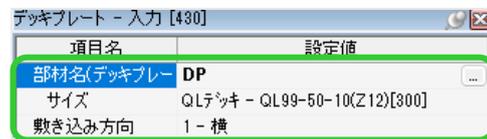
【二次部材マスター】 - 【デッキ】にて『種類：3-デッキプレート』を選択後、材種等を入力し部材を登録します。

【デッキプレート】 - 【入力】 をクリックします。



入力シートにて部材名と敷き込み方向を設定します。

デッキプレート範囲と敷き込み方向の基準を指定するとデッキプレート範囲が入力され、表示されます。



デッキプレートは登録・配置しても作図上は表示されません。

部材名(デッキプレート) <無>

デッキプレートの台数や重量の出力が不要な場合はデッキマスターの登録は不要ですが、デッキ受けを入力する際にデッキプレート範囲が必要となりますので、必要に応じて【部材名】：<無> で入力を行って下さい。



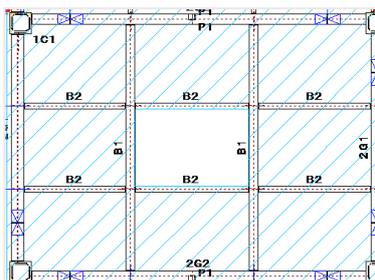
デッキプレート範囲を中抜きするときは

【デッキプレート】 - 【中抜き追加】 で範囲を

指定してください。中抜きを削除する際は

【中抜き削除】 を使用してください。

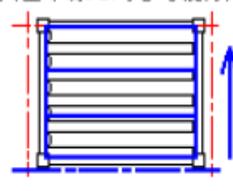
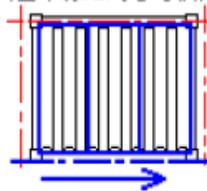
※面積や重量へ反映されます。



【敷き込み方向】では選択基準(通り)に対しての

敷き込み方向を選択します。

1-横(基準線に対して横方向) 2-縦(基準線に対して縦方向)



※敷き込み方向でデッキプレートの延べ面積が変わります。

詳しくはQ&A『デッキプレート面積の計算方法を知りたい!』を参照してください。



サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)①

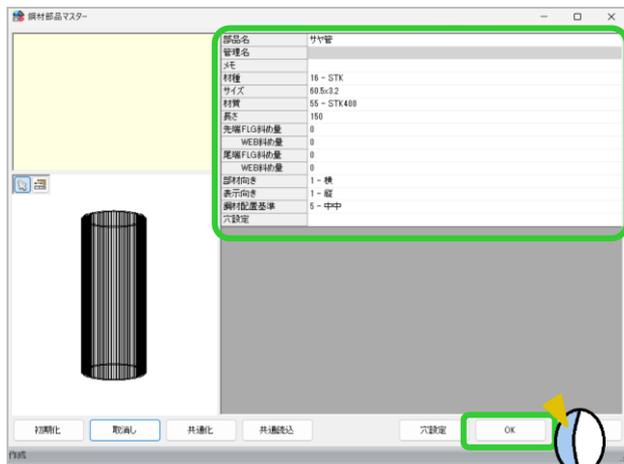
二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

【二次部材】 - 【二次部材マスター】 - 【特殊部品】 をクリックします。

今回は STK 鋼材を使用して特殊部品を作成するため、【鋼材部品】タブを開いた状態で【作成】をクリックします。

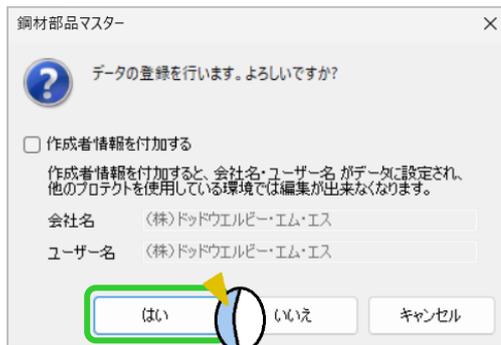


部品名・材種・サイズなどを入力し、**OK**をクリックするとメッセージを表示します。



部品名	サヤ管 と入力
材種	16-STK を選択
サイズ	60.5x3.2 を選択
材質	55-STK400 を選択
長さ	150 と入力
先端 FLG 斜め量	0
WEB 斜め量	0
尾端 FLG 斜め量	0
WEB 斜め量	0
部材向き	1-横
表示向き	1-縦
鋼材配置基準	5-中中
穴設定	今回は設定しません

はいをクリックして鋼材部品を保存します。



作成者情報を付加するに☑を入れると部品データに作成者情報を付加します。
作成者情報を付加された部品は、別のプロテクトキーを使用時に編集や共通化ができません。



特殊部品は部品データ（板部品や鋼材部品）をもとに組み合わせて作成を行います。

- 板部品 …PL の部品を登録します。
- 鋼材部品…鋼材を部品として登録します。

※板部品、鋼材部品を単品で配置する場合も、特殊部品での登録が必要です。

※詳細は【特殊部品マスター】 - **ファイル** - **作成手順**を参照してください。

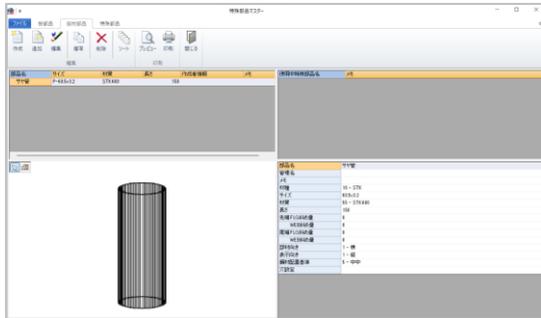


サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)②

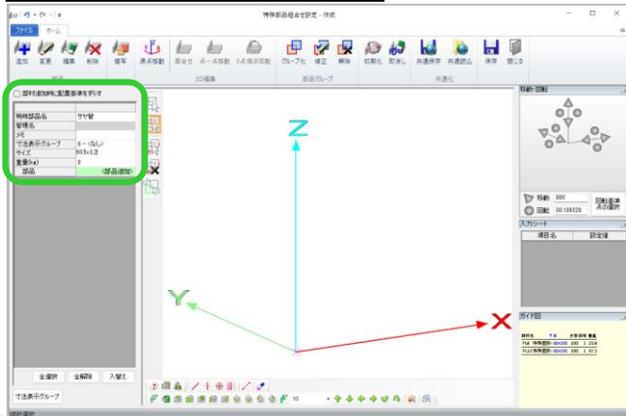
二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

サヤ管で使用する鋼材部品を登録した後、【特殊部品】 - 【作成】 をクリックします。

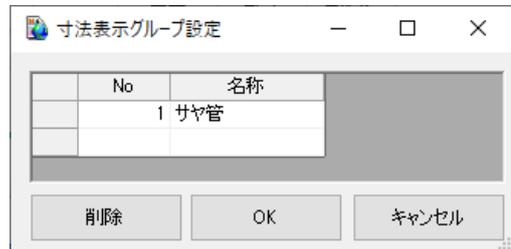
〈鋼材部品登録後〉



特殊部品組み合わせ設定 - 作成画面が表示されるので、特殊部品名・サイズを入力、寸法線グループを設定します。



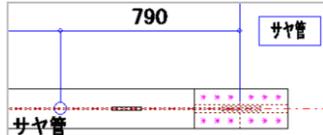
『部材追加時に配置基準をずらす』 チェックを外す	
特殊部品名	サヤ管 と入力
寸法表示グループの▽をクリックして〈新規作成〉をクリック	
No	1 と入力
名称	サヤ管 と入力



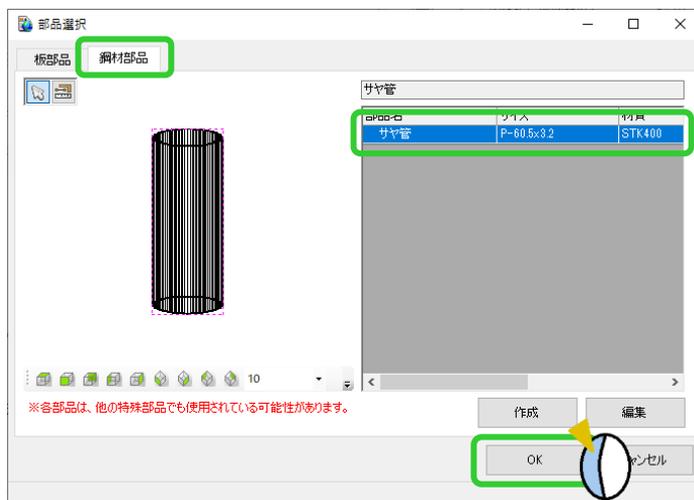
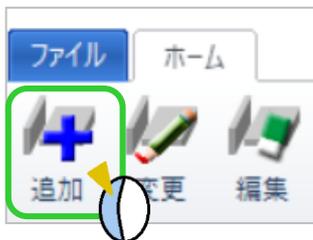
寸法表示グループ	1 - サヤ管 を選択
サイズ	60.5x3.2 と入力



【寸法線表示グループ】を設定すると、梁詳細図や加工図に寸法を表示します。



【追加】 をクリックし、部品選択画面で特殊部品のサヤ管として使用する部品を選択し【OK】をクリックします



部品選択画面では、作成から部品作成画面へ移動し、新たに特殊部品として使用する部品を作成することもできます。

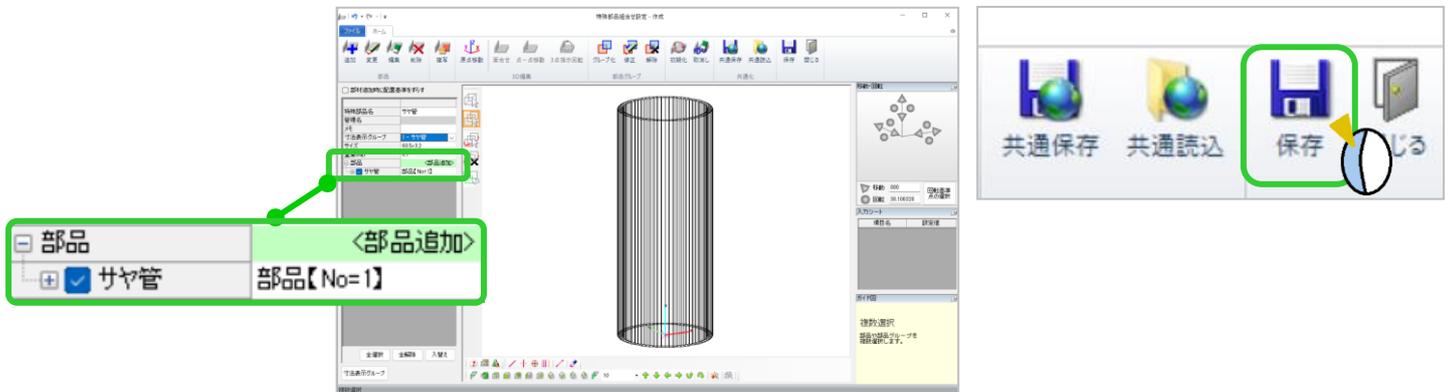




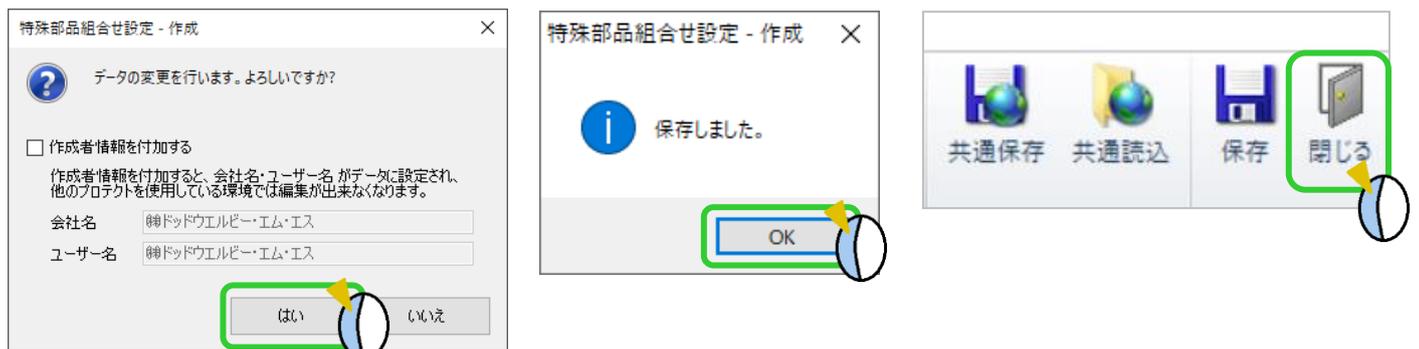
サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)③

二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

特殊部品作成画面に戻り、先程選択した鋼材部品が表示されたことを確認し、【保存】をクリックします。



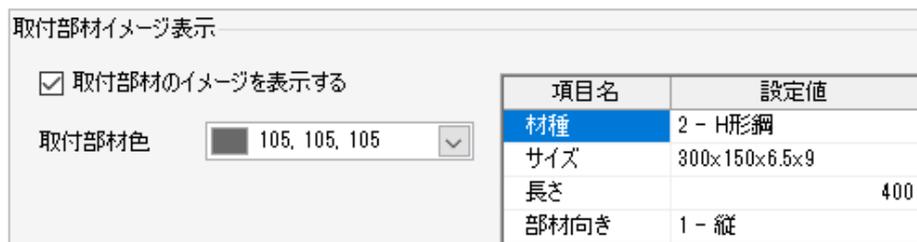
確認メッセージの【はい】をクリック、保存確認画面でも【OK】をクリックし、【閉じる】をクリックして終了します。



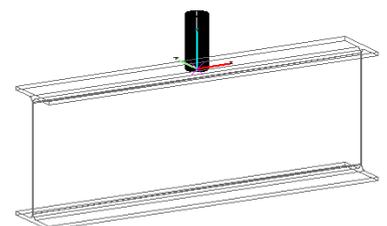
作成した特殊部品は【共通保存】することができます。
他工事で使用する場合に【共通読込】で、共通保存していた特殊部品を読み込んで登録することができます。



取付部材のイメージを表示する場合は、【ファイル】 - 【オプション】をクリックし、【取付部材のイメージを表示する】にチェックを入れ、表示させたい部材情報を設定してください。



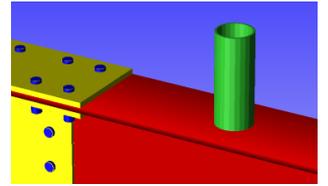
取り付け部材のイメージを表示すると、取り付け部材の絵を表示することができ、梁に取り付ける際の原点などがわかりやすくなります。



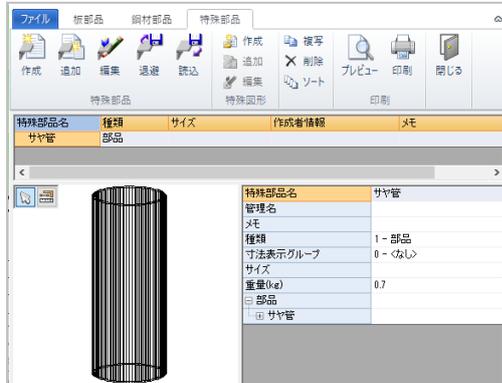


サヤ管を配置したい！

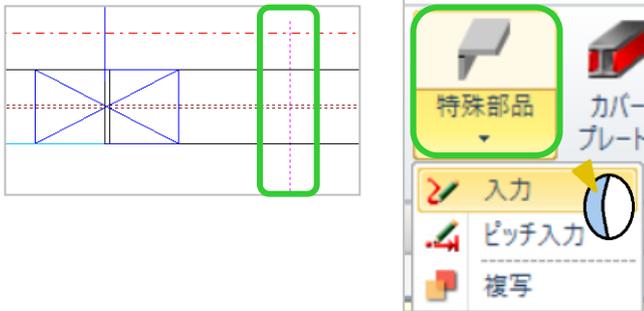
特殊部品を活用し、配置することができます。



事前に【二次部材】 - 【二次部材マスター】 - 【特殊部品】にて配置したい特殊部品をマスター登録しておきます。



特殊部品を配置したい箇所へ補助線を引き、【特殊部品】 - 【入力】をクリックします。



特殊部品は配置場所によって入力方法が異なります。
柱の面など、側面へ配置したい場合は
【仮設金物】 - 【入力】にて配置します。

【入力シート】で配置したい特殊部品を選択します。



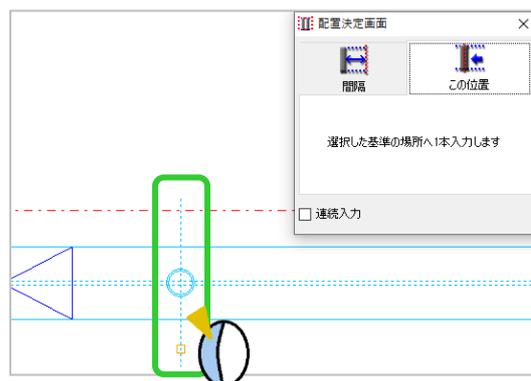
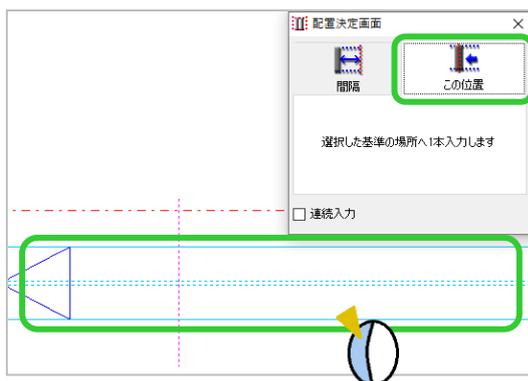
【基準指定】では、上下の高さの基準を選択します。

【階高】…特殊部品を配置した階高を上下の基準にします。

【勾配】…【勾配-入力】で設定した勾配を上下基準として選択します。

【接続データ】…取付部材指定で選択した部材の天端を上下の基準にします。

サヤ管を配置したい梁を選択、【この位置】を選択した状態で補助線をクリックします。



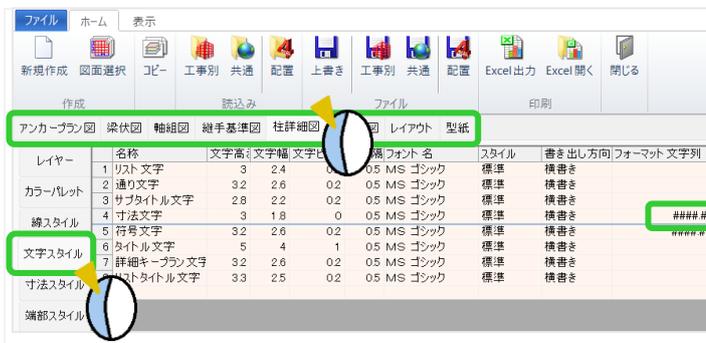
図面の寸法文字を変更したい！(コンマ、小数点以下の表示) レイヤー設定で変更することが出来ます。

【ファイル】 - 【レイヤー設定】 をクリックします。



寸法文字の表示方法を変更したい図面タブを選択します。

【文字スタイル】 - 4.寸法文字を選択し、フォーマット文字列を変更します。



例えば「1,000」のように3桁目にコンマを入れたい場合は「#,###」と入力します。3桁目で区切り、小数点以下一桁まで表示する場合は「#,###.#」と入力します。

(例)「#,###.#」→「1,234.5」

「#####.#」→「1234.5」

小数点2桁以降を表示したい場合は、「.」のあとの「#」を増やします。



各図面で設定が出来るようになっています。

図面ごとに設定をするか、すべて同じで良い場合はコピーをクリックすると他の図面へコピーされます。また、工事別・共通・配置でそれぞれ設定することが可能です。



設定を保存します。【工事別】 をクリックし設定を保存します。

→変更した設定を今後も使用したい場合はファイルの【共通】へ保存をしてください。

工事作成時に工事管理オプションにて共通レイヤーの変更をお願いします。

※工事管理オプションについてはQ&A『共通保存したパラメーターを工事作成時に選択したい！』をご参照ください。

入力画面上でも寸法文字の表示を変更したい場合は【配置】に保存をしてください。



設定後に再度作図を行ってください。